



満開の桜とやわらかい春風に包まれて、252名の入学をお祝いすることができました。

発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

4月号

「募金で作る笑顔」と題する作文で、市観光協会賞を受賞した。そのなかで、被災地への募金活動に関心が薄かった自分が、大きく変わっていく様を綴っていた。

変わるきっかけは、被災地でボランティア活動に励む若者のこんな言葉だった。

「昔からボランティアをやりたいと思っていた。被災した方を少しでも楽にさせたい」この言葉をカッコいいと感じた彼は、新たな募金を自ら行うようになる。



40年前になる。私は20歳を記念して九州一周、オートバイ単独ツーリングに出た。そして長旅を終えると、終生忘れることのないこんな認識をもった。

「日本は美しく、日本人はやさしい」

美しい日本と、やさしい日本人。青二才の私が、そのとき感じたありのままの日本の姿だった。そして、やさしい日本人であることの必要性を、今なお強く感じている。

昨年、現3年生の横井陵平君が、

4月4日、252名の新入生を迎え、全校生徒720名が新たなスタートラインに立った。

心も体も学力も、ぐんぐん伸びる中学生。やさしさという日本人のDNAをしっかり受け継ぎ、世の役に立つ人材へと成長してほしい。

やさしさは、人と人をしっかりとなく。やさしい人に。君も私も。

そして、家族の笑顔に、募金の意義を見出し、作文をこう結んだ。

「募金は全員を笑顔にすることができる」

私は横井君の体験に、やさしさを形にした理想の生徒像を見る思いがした。

やさしさとは、黙って見ていることではない。美しいこと、カッコいいこと、恥ずかしいことを理解して、誰かのために行動を起こすこと。これが本当のやさしさだと私は理解している。

新しい時代、「令和」を迎える。昭和、平成と先人が受け継いできた日本人のやさしさを、時代の壁を越えて受け継いでいきたいと思う。

どんな家庭に育ったのか。どんな先生と出会ったのか。どんな友達と出会い、どんな本と出会ったのか。やさしさはたくさんのお出会で進化できる。そして、やさしさは自ら磨くことができる。

お別れの言葉

あいさつ・思いやり・今が大切

今枝 武司

【東海中へ(教頭)】

自分の子供たちがお世話になった葵中学校で勤務できるとは思っていませんでした。私にとって葵中学校は、家族のような温かい場所でした。

朝、昇降口の下であいさつをしていると、遠くから大きな声であいさつしてくれる子、近くまで来てはつきりとあいさつしてくれる子、照れくさそうに目を見て頭を下げていく子、私はどの子のあいさつもその瞬間が好きでした。なるべく毎朝、にっこりと笑顔であいさつしました。すべての子に自分の子のように接してきたつもりです。

先生方・保護者の皆さま、本当にお世話になりました。今後も一学区住民として葵中の発展と生徒のみんなの活躍を願っています。ありがとうございました。

迷惑をかける勇気

福田 忠大

【額田中へ(校務補)】

葵中学校で学んだことのひとつに、「迷惑をかける勇気」があります。自分の力量を超えることは、はつきり「できない」

と口にする勇気です。以前の私は、できないことも無理をして抱え込み、結果、周りに必要以上の迷惑をかけてしまうことがありました。そんな私を真っ直ぐな生徒たちが、熱い同僚が、そして温かい保護者の皆様が支えてくれました。安心して「できない」と言えました。

お世話になりました

秀野 亜友

【城南小へ(指導員)】

十年という本当に本当に長い間、お世話になりました。

協働学習に取り組んだ数学の授業、アイデアを出し合い燃えた行事、厳しい練習に取り組んだ部活動。負けず嫌いな私は、熱くなりすぎてしまうこともありました。素直な葵中生、温かく支えてくださった保護者の方々、どんなときも助けてくれる仲の良い職員に支えられ、楽しく充実した日々を過ごすことができました。幸せな時間をありがとうございました。

皆さんのご活躍を、心から応援しています。



重要なのは

小久江 友見

【竜海中へ】

この葵中学区でお世話になりました。明るく素直な生徒の皆さんと、それを温かく見守り支えてくださる保護者、地域、職員の皆様。本当に素敵な方ばかりで、毎日が充実していました。この十年間は私の宝物です。ついに葵中学区を離れることになり、寂しい限りです。しかし、これからは重要なことは、「どこで」するのではなく、「何を」するかです。

皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、この学区で学んだ多くのことを今後に生かしていきます。本当にありがとうございました。

葵中学校に感謝!

長谷川 千草

【矢作北中へ】

葵中で過ごした六年間は、どれも思い出深いものばかりです。素直でかわいいクラスの子たち、授業で一生懸命な姿を見せてくれる葵中生、一つの音楽を作ろうといつもみんなで語り合った吹奏楽部員たち、協力的な保護者の方々、温かく見守ってくださる地域の方々、すばらしい環境の中で、日々過ごすことができたことに本当に感謝しています。

葵中生との思い出、葵中魂を胸に、新たな地でも頑張ります。そして、葵中生の活躍が聞こえてくることを心から楽しみにしています。

すばらしい作品を

小田 薫子

【知立南中へ】

皆さんと授業をしていた毎日は今は懐かしく感じます。明るくて楽しそうに授業に参加してくれるみなさんが大好きでした。

「何かを描いたり つくったり 自分の努力が作品としてかたちに残る。こんな素敵な教科、他にありませんか。」私がお世話になった先生が言っていた言葉です。週に一回しかない授業でも、月日を重ねてやっと完成させた作品に込められた努力や思いはすばらしいものです。

これからも美術の時間を大切に、作品づくりに励んでいってください。

ふりかえれば

西脇 ゆづみ

【竜海中へ】

たった一年、しかも授業だけのつながりしかもてなかったのに、関わった百二十名足らずの皆さんの姿は、私の胸に、しっかりと焼き付いています。授業で私が問いかけることに、様々な意見が飛

び交いました。意味調べとともに、ノート之余白がなくなるぐらい漢字練習がしてある漢字ノートを出す人もいました。品詞分解をクイズのように楽しく取り組み人がたくさんいました。

授業をする楽しさを存分に味わわせてくれた皆さんとの出会いに、心から感謝します。

素敵なおいさつをありがとうございました

山本 桂子

【額田中へ】

葵中の生活信条「あいさつ、思いやり、今が大切」がとても好きでした。この中でも、葵中生の気持ちの良いあいさつに、心が温かくなりました。あいさつは、相手の心を温かくすると同時に、自分の気持ちを前向きにします。これからも素敵なおいさつができる葵中生でいてください。

葵中生の活躍を心から応援しています。二年間ありがとうございました。

一年間ありがとうございました

辻 多江子

【北中へ】

緑に囲まれた葵中学校に赴任し、事務職員として勤務させていただきました。一年間という短い間でしたが、皆さんにご指導いただき、充実した毎日過ごすことができました。生徒との交流は

少なかったですが、明るく元気なあいさつに触れることができました。文化祭や卒業を祝う会の行事は、とても楽しく拝見させていただきました。先生たちと葵中生の熱い力を感じました。本当に良い学校だと思いました。一年間お世話になりました。ありがとうございました。

よろしくお願いします

《平成三十一年度 転任者一覧》

教諭	吉雄 郁高	福岡小より	教頭	矢田 雅彦	上地小より
教諭	藤原千恵美	根石小より	教諭	今井 朋晴	新香山中より
講師	小林 直子	矢作北中より	教諭	三輪 恭之	六ツ美中より
講師	山田 匠馬	新任	教諭	齋藤 裕美	竜美丘小より
講師	滋野井貴子	六名小より	教諭	浅井 優子	三島小より
講師	鈴木 直子	岩津中より	教諭	目黒 真一	津島市・神島小より
講師	仲谷 郁恵	新任	教諭	櫻井麻佑子	細川小より
講師	濱田 恵子	福岡小より	教諭	坊田 千里	六ツ美北中より
事務	小島穂野花	新任	教諭	後藤 麻由	新任
ALT	チケジウドゥマ	矢作中より	教諭	蜂須賀文隆	新任
			教諭	橙 里奈	新任

新年度にかける想い

新入生 誓いの言葉

今日、私たち二五二名は、やわらかな春の光の中、葵中学校の門をくぐりました。新しい環境で始まる中学校生活への不安や緊張もありますが、それ以上に、新しい仲間と一緒に学び、たくさん行事や部活に取り組み、大きな期待を抱いています。

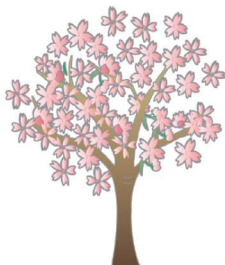
私は、入学説明会の際に教わった「生徒心得3C」がとても印象に残りました。私の中では、小学生のときでも、ちゃんと聴き、ちゃんと伝え、ちゃんと始めることができていると思っていました。しかし、「聴く」でも心で聴いていたか、「伝える」でも、自分の意見をしっかりと心を持っていたか、物事を「始める」ときも、心構えをしてから始めていたか。あたり前のことをするとき、気持ちを入れて行うことができているか。と言うと、できていなかったように思います。「中学生」という新しいスタートラインに立った今日から、「生徒心得3C」をしっかり心と心に刻み、先輩方に少しでも早く

く近づけるように頑張ります。先生方、先輩方、どうぞ温かく見守ってください。

元号が変わる節目の年に、あこがれていた中学校生活が始まります。私たち新一年生は、仲間とのきずなを深め、努力を惜しまず、一日一日を大切に、充実した三年間を過ごすことをここに誓います。

平成三十一年度 前期生徒会役員

会 長	役員						三年五組
	女子			男子			三年一組
代表	一年 男子	二年 男子	三年 男子	代表	一年 女子	二年 女子	三年 女子
代表	一年一組	二年三組	三年三組	一年一組	二年二組	三年一組	三年四組
代表	一年一組	二年五組	三年六組	一年二組	二年四組	三年二組	三年五組
代表	一年一組	二年三組	三年三組	一年三組	二年一組	三年一組	三年二組



期待や希望にあふれる学校に 生徒会長

僕は春休みの間、学校が始まったらどんなクラスかな、しっかり生徒会長としての役目を果たせるかなとたくさん心配や不安がありました。

しかし、実際に新年度が始まるとあいさつをすれば返してくれるし、クラスは明るい雰囲気だったので、心配や不安は、期待と希望に変わりました。



これからの半年間、生徒会長として学校全体をまとめて、全校生徒の心配や不安を期待と希望に変えられるように、明るい学校にしていきたいと思えます。

平成三十一年度PTA総会開催 四月二十日(土)

去る二十日(土)に、本校体育館アリーナで本年度のPTA総会を開催し、事業計画案、予算案の審議に続き、新役員等が承認されました。

保護者の皆様には、お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございます。今後も本校PTA活動にご協力ください。

● 父母 教師会 役員		会長	伊藤 健一
副会長	高橋 郁夫	副会長	永島 博紀
副会長	中村 充	副会長	鬼頭 理恵
副会長	鈴木 真里	書記	深谷 和代
書記	都築 綾子	会計監査	森田 陽子
会計監査	宮地 いずみ	会計監査	宮地 いずみ

葵中生の充実した学校生活のために PTA会長 伊藤 健一

ご入学ご進級おめでとうございます。子供たちも新たな環境に戸惑いながらも期待と希望を胸に日々過ごしていることでしょう。

さて、新年度ということで私たちの取り組んでいるPTA活動についてお伝えしたいと思います。

葵中のPTAは、子供たちがどうやったら楽しく、充実した学校生活を送れるかを常に考えながら活動しています。

そのためには、より多くの会員の皆様にPTAの活動に参加していただくことがとても大切です。このため、葵中では一家庭一支援(ワンサポ)を導入しています。

会員の皆様の一つの活動が子供たち全員の成長を後押ししている活動です。どうか積極的なご参加をお願いします。

表彰の記録



岡崎市剣道選手権大会 中学一年生男子の部	二位
山崎・柏木杯柔道大会 中学一年生の部	五位
全日本少年野球大会 岡崎予選 野球部	優勝
フライト杯 バスケットボール部 男子	二位
葵杯 バスケットボール部 女子	優勝
バスケットボール部 男子	二位
中学一年生女子バレーボール大会 バレー部	優勝



〈伊賀川プロジェクト(スイセン)〉

五月の予定



一日(水)	天皇の即位の日
二日(木)	国民の休日
三日(金)	憲法記念日
四日(土)	みどりの日
五日(日)	こどもの日
六日(月)	振替休日
七日(火)	全校集会
八日(水)	尿検査(一次予備日)
九日(木)	内科検診(三年)
一〇日(金)	健全育成会議
十一日(土)	岡崎学力検査(三年)
十二日(日)	生徒集会・生徒議会
十三日(月)	総体強調週間(一~七日)
十四日(火)	耳鼻科検診・葵プロジェクト
十五日(水)	中間テスト範囲発表
十六日(木)	自由参観日・歯科検診
十七日(金)	修学旅行説明会
十八日(土)	選手激励会・部活懇談会
十九日(日)	市総合体育大会
二十日(月)	市総合体育大会続き
二一日(火)	市総合体育大会代休日
二二日(水)	部活動休止(二三日まで)
二三日(木)	中間テスト一日目
二四日(金)	尿検査(二次)
二五日(土)	中間テスト二日目
二六日(日)	伊賀川プロジェクト(三年)
二七日(月)	いじめアンケート
二八日(火)	市総合体育大会続き
二九日(水)	教育実習開始
三十日(木)	尿検査(二次予備日)